

世界がモンサントに対して立ち上がる——400 都市以上が 遺伝子組み換えに抗議

【訳者注】モンサント社については盛んに論じられているが、この欄に正面から取り上げたことはない。この独占企業の横暴・狂気・冷酷ぶりは、中東やウクライナでのワシントンの横暴・狂気・冷酷ぶりを、(武器を使わないだけで) まるで鏡に映したかのように見えるのは、根が同じだからである。したがって、これは新聞もテレビも報道しない——世界同時蜂起のような、現状打開の突破口になりうる事件であるにもかかわらず。先進国では日本だけが参加していないようだ。例によって他人事か？

May 24, 2015

RT (Russia Today)

<http://img.rt.com/files/news/3f/dc/50/00/march-against-monsanto-rt.mp4?event=download>

世界中の都市で何千という人々が、アメリカの巨大バイオテック巨大モンサントに対して、地球的运动を起こし団結して立ち上がった。400 を超える都市の活動家たちが、GMO（遺伝子組み換え製品＝種子）とモンサント社の食糧供給の独占支配に対して、反対の声をあげた。

土曜日（23日）は、3年目の地球的な「モンサントに反対するマーチ」（MAM）が行われた日となった。オーガナイザーによると、48か国が、この巨大な地球的デモに参加する計画をしていた。

関連資料：「モンサント社に反対するマーチ、世界的抗議集会」<http://rt.com/news/261457-monsanto-march-third-awareness>

[ここ](#)をクリックして、地球上のどこで抗議が起こっているかを見ることができる。総計 452 のデモ集会が MAM 組織によって登録されている。

<https://www.google.com/maps/d/embed?mid=zjZVOFM1faWY.kxDQ7qSvoLAg>



活動家たちは、この農企業が、人間の健康や上水道、致命的に重要な花粉を運ぶ昆虫や、環境一般に害を与える有毒化学薬物を、販売しているとして非難している。この巨大企業はまた、食物の安全規定に対するその態度や、GMOの表示ラベルに頑固に反対していることで、猛批判を受けている。一方、小規模農家は、モンサントが種子の市場を独占していることを非難している。



この日の最初の抗議の一つは、オーストラリアのシドニーで起こり、デモ隊は「ウソはもういい加減にせよ」「GMOは子供たちをゆっくり殺している」といったプラカードを掲げて歩いた。

<https://youtu.be/mBcKTLygPbs>

このラリーのある運動家は、RT のビデオ班 Ruptly に対し、モンサントのような企業は、この惑星に危害を加えた犯罪を追究されるべきだと答えた。「この会社は、地球に対して繰り返し、犯罪を働いてきたと言ってもよい。我々が証明しようとしているのは、企業の負うべき責任だ」と、そのオーガナイザーは話した。「また我々は、きれいな食物を作れる条件を要求する。我々の祖父たちが食べ物と呼んでいた、殺虫剤を含まない、きれいな食物だ。」



アジア、アフリカ、ヨーロッパでもまた大きな集会があった。(下)



バングラデッシュのデモ隊は、この国の首都のダッカ大学の美術学部のまわりに、人間の鎖を作った。インドでは、このバイオテックの巨人の独占的圧迫に苦しんでいる、何千という農家の人々が、ずっと前からモンサントに抗議している。GMO 綿花が彼らの作物に取って代

わって以来、生計の道を失って苦しむインドの綿花農家の間で、自殺が増加している事実についてのドキュメンタリーが、ほどなく RT で見られるだろう。



一方、南アフリカの活動家の群衆は、雨天にもかかわらずケープタウンに集結し、遺伝子組み換え作物に抗議して行進した。(下)



フランスでは、20 以上の都市が参加し、パリ中央の通りのいくつかは完全に通行不能になった。フランスはモンサントの最大の市場の一つだ。



ドイツの首都ベルリンでは、ドイツがモンサントの種子を使っていないにもかかわらず、大きなデモが起った。ただ活動家たちは、地方の農家はそれでもモンサントの殺虫剤や除草剤を使っていて、授乳中の母親の母乳や、上水道や、GMO 食物を食べなかった人たちの尿にまで、痕跡が現れていると言っている。



「食糧生産に起こった変化は元に戻せません。そしてそれは人間の今後の歴史にずっとつづくのです。今後すべて GMO ということになれば、我々には選択がなくなります」と、パリの抗議者 Heidi Osterman は RT に話した。

「私は、一般大衆は、自分がこれによって深刻な病気になっていることを理解しないかぎり、目覚めないのではないかと思う」と、活動家で「トゥルー・フード協会」副議長の Dietrich Wittel は話した。

英国ロンドンのデモ隊は、イギリスという島が孤立し小さいことを考えると、GMO 作物のこの島の“占領”はより簡単で、より早く進むのではないかと心配だと言った。



「問題点は、GMO がテストされていないということです。この種の防虫剤や肥料は食べ物を汚染して、私たちに悪い影響を与えるかもしれない。だから根本的に GMO は容認できないのです」と、あるロンドン集会の抗議者は RT の Laura Smith に話した。

アメリカ人は、GMO のラベル表示と、バイオテク独占権の停止を求める

モンサントと GMO 食品に反対するマーチの波は、アメリカを襲った。抗議に参加した都市には、ニューヨーク、ワシントン DC、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シカゴ、インディアナポリス、ポートランド、オークランド、その他多数の都市がある。抗議者たちは、モンサントが、アメリカの種子マーケットで 90%を支配していることを糾弾した。

<https://twitter.com/answercoalition>

何百という抗議者が、反 GMO 行動の一部として、ホワイトハウスと、モンサントのワシントン DC 本店へ押しかけた。ニューヨークの人々もこの機会に、疑念を表明して集まった。

<https://youtu.be/qsGR2bhgdU4>

シカゴの抗議者も、モンサントと GMO 食品に反対して行進し、いくつかの通りで交通が止まった。



「モンサントがあるために、ほとんどの我々の食品に GMO が入っています。アメリカはそれを禁じていない国の一つです。これは本当に重大問題で、これを阻止するために、我々は

大声をあげなければならない」と、ニューヨークのある抗議者は RT に話した。

<https://youtu.be/Czk7HfxUyPY>

アメリカの中心問題の一つは、GMO 製品のラベル表示をめぐるものである。「我々の最大の問題は、そもそもラベルによる表示がないことだ」と別の抗議者が言った。

<https://youtu.be/4p4CGXBdeWc>

アメリカの北隣、カナダもまた、この巨大農企業に反対を表明した。カナダの最も人口の多い都市トロントが行動の中心地だった。何百という人々がクイーンズ公園に集まり、「GMO を禁止せよ」という旗を掲げて、この都市の通りを行進した。



「人々は、食料システムのコントロールを取り返すために、ここに集まっています」と、活動家の Jodi Koberinski は CBC に話した。「我々は政府に対し、これらの企業に自分のつくり出したダメージの責任を取らせるよう、要求しています。」

カナダ、ブリティッシュ・コロンビアの Kelowna 市のデモ隊は、こう叫んだ——「へい、へい、ホー、ホー、GMO などもういない！」カナダ、オンタリオ州、ロンドンの抗議者たちは、「ほんとの食べ物を要求する、今すぐだ」と叫んでいた。オンタリオの養蜂家たちもまた、死んだミツバチでいっぱい、象徴的な棺桶をぶちまけたが、これは CBC ニュースによると、このあたりの農場から拾い集めたものだという。

https://youtu.be/SWk_tMxiNhY

ハワイでもカリブ海でも、モンサントの権力に抗議し、ハワイの活動家たちは「GMO のない」島を要求し、プエルトリコ人たちは「毒はもういない」と歌いながら、旗をもって行進した。



南米では強力な反 GMO 抗議が見られ、デモ隊はかなり強烈な絵を描いたプラカードを掲げていた。多くの抗議者は、モンサントの殺虫剤と遺伝子組み替え製品は、神経障害と癌を引き起こすと強調していた。



ブラジルの抗議者たちは、ガスマスクと白いユニフォームを身に着け、血で汚れたように見える、反モンサントの旗を持っていた。アルゼンチン、ブエノス・アイレスでは、ガイ・フォークスのマスク（“アノニマス”）と、このバイオテック巨獣に反対するプラカードが、緑の本当の食物への要求と入りまじっていた。



年恒例の最初の MAM (反モンサント運動) は 2013 年に行われた。そのとき、世界中の 200 万以上の抗議者が通りに繰り出して、デモンストレーションを行った。

モンサント社は、1901 年に創設され、最初は食品添加物を生産していた。一世紀以上を経て、それは遺伝子組み換え種子と化学除草剤の生産で、世界をリードした。現在、それは 61 か国の工場で、2 万 2000 人以上の従業員を雇っている。



モンサントの代弁者 Charla Lord は、きょうの地球的運動に対して、このように声明を発表した——「当社は、すべての人が利用できる、よりバランスの取れた食物の生産を心掛けております。」



すべての木々が切り倒され
すべての水が毒され
すべての動物が死に
すべての空気が呼吸するのに
不適となったとき
そのとき初めてあなたは知る
だろう、
**お金は食べられないという
ことを。**

土曜日、モンサントに反対する何千もの人々がいるのを見て、この巨大農企業を支持する数人の人たちが現れ、GMOの使用を支持する旗を持って、モンサント本社の前に集った。プロ・モンサントのデモ参加者は、抗議者たちは遺伝子組み換え製品について“神話”を撒き

散らしていると言っていた。

